

新しい命を祝う韓国の神秘的な文化

デモン  
「胎夢」

太宰府市国際交流員 金辛玄

韓国には「胎夢」と呼ばれる、独特で神秘的な文化があります。胎夢とは、子どもを授かる前後に家族が見る“誕生を予兆する夢”のことです。多くの場合、母親や父親、時には祖父母や親戚がこの夢を見ますが、その内容は非常に鮮明で、目が覚めてもはっきりと覚えているのが特徴です。家族はその夢の象徴から、子どもの性別や性格、将来の運勢などを読み取ろうとします。これは単なる迷信というより、新しい家族を迎え入れるための「最初の物語」として、大切に語り継がれてきました。

夢に現れる象徴には一定の傾向があります。例えば、龍や虎のような力強い動物はリーダーシップのある男の子を、財運の象徴である豚は豊かな人生を歩む子どもを暗示すると言われます。また、丸くて大きいスイカやメロンは男の子、赤く熟したリンゴや桃、美しい花は女の子を意味することが多いです。さらに、宝石や澄んだ水の夢は、清らかで知性に恵まれた才能ある子を象徴すると考えられています。

現代の韓国において、胎夢に科学的な根拠があると考えられているわけはありません。しかし、家族が同じ夢を語り合い、そこに意味を見出すプロセスそのものが、子どもを迎える心の準備や愛情の再確認になっています。胎夢は、今なお新しい命の誕生を祝福する温かい文化的な表現として、韓国の人々に深く親しまれています。

季節の生け花

太宰府市華道連盟



川波 洋子 小原流 (星ヶ丘区)

花材：木瓜、百合、アイリス、菜の花



太宰府短歌会

逝きし人見送るわれも散る木の葉  
冬の夕焼け心に沁みる

春日市/山本 憲一

貝殻をおカネとしたる頃もある  
縄文では文化が兆し

御笠/高塚 茂樹

歌才あり個性あふるる女人の逝く  
納めの歌会の歌友を前に

青山/磯村順一郎

ビッグバン変わる天神の思い出は  
新天町から始まった

五条/大穂 聡子

脳トレに辞書をひきつつゆったりと  
過ぎゆく時は老のたまもの

朱雀/黒木 邦枝

太宰府俳句会

持永 真理子 選

曇天の深さを探る揚雲雀

星ヶ丘/柴田 慧美子

草原の饒舌雲雀見失ふ

東観世/中島 祝乃

飛梅句会

介弘 紀子 選

草の名を覚え春めく野の豊か  
あつちりとも筑紫野の落雲雀  
顔の傷成就したやら猫の恋

小都市/宮原 勝彦

たくましや薔薇の芽かきの惜しみなく

青葉台/平野 香

二人居て満ち足りてをり梅月夜

朝倉市/味酒 ふじ子

寄せつけぬ棘に守られ薔薇芽吹く

青葉台/本山 晴子

雪解けてどーどーの千曲川

向佐野/内田 典子

殿の行手ぬかるむ雪解道

星ヶ丘/江里口 幸生

宝満句会

菅井 久美子 選

枝垂れ咲く下枝の色も濃紅梅

高雄台/荒島 由美子

末黒野にひと筋の道在りにけり

高雄台/川路 泰子

鳥語降る紅梅の空ふくらめり

福岡市/工藤 友子

赤牛の放牧近し焼野かな

筑紫野市/名本 剛

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選

晴れゆる焼野の阿蘇の風匂ふ

長浦台/徳賀 美智子

春泥の重なる土間や駐在所

青葉台/彦坂 正学

陶工の遺せし白磁寒牡丹

福岡市/塩飽 たかこ

声ひそめ都会の闇へ豆を撒く

福岡市/北川朴洋子

がん治療挑む夫の背冬がすみ

筑紫野市/寺田 恵子

童舞う狭き庭先土竜打ち

筑紫野市/日永田忠孝子

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選

血圧を計る間は喧嘩止め

二日市/坂本 やよ子

錆び付いた思考回路に気がもめる

都府楼/杉 良子

遠まわり並んで歩くスニーカー

大野城市/高巢 富美子

過去愛えることが出来たら何処をかな

石坂/多田 功

薄味に馴れて健やか老いふたり

観世音寺/松浦 ちえ